◎令和7年（1～12月）漁業種類別主要魚種の水揚状況

	平年に比べて好漁（120%以上）				平年並み（80～120%）				平年に比べて不漁（80%以下）			
	魚種	水揚量	平年比	前年比	魚種	水揚量	平年比	前年比	魚種	水揚量	平年比	前年比
板びき網					ヒラメ	59t	83%	105%	アマダイ類	16t	39%	81%
					アカムツ	2t	93%	204%	その他のカレイ類	14t	61%	86%
									ムシガレイ	13t	43%	88%
									マガレイ	4t	57%	120%
									タコ類	2t	47%	105%
									ヤナギムシガレイ	2t	17%	44%
底びき網等					マダイ	225t	108%	128%	マダラ	107t	64%	74%
					ニギス	188t	83%	103%	カレイ類	97t	61%	81%
					スケトウダラ	6t	117%	68%	ホッコクアカエビ	79t	56%	125%
									アカムツ	22t	70%	97%
									アンコウ	12t	43%	75%
									ヤリイカ	12t	53%	214%
									スズキ	9t	74%	70%
									タコ類	6t	56%	76%
									ホッケ	2t	6%	23%
									ハタハタ	1t	3%	38%
定置網	サバ類	657t	132%	107%	ヒラマサ	32t	99%	45%	マアジ	332t	62%	83%
	マイワシ	499t	210%	124%					イナダ	153t	41%	32%
	メジ	96t	162%	116%					中ブリ	40t	49%	82%
	クロマグロ	90t	327%	406%					サワラ	40t	62%	40%
									スルメイカ	38t	43%	89%
									マダイ	24t	55%	61%
									小ブリ	22t	38%	55%
									大ブリ	18t	16%	27%
									ヤリイカ	5t	53%	52%
									サケ	4t	4%	15%
まき網	サバ類	474t	184%						マアジ	0t	0%	
									イワシ	0t	0%	
									イナダ	0t	0%	
									ブリ	0t	0%	
いか釣									スルメイカ	36t	6%	21%

※平年：過去5年間の平均水揚量

○　令和7年漁況の主な特徴

【底魚類】
○板びき網
・主要地区における延べ出漁隻数は前年比100%、平年比82%でした。
・総漁獲量は321トンで前年比107%、平年比81%、水揚金額は前年比114%、平年比109%でした。
・魚種別では、ヒラメ、アカムツは平年並み、マガレイ、その他のカレイ類は平年の6割程度、アマダイ類、ムシガレイ、タコ類は平年の4～5割程度、ヤナギムシガレイは平年の2割未満となりました。
○底びき網等
・主要地区における延べ出漁隻数は前年比94%、平年比81%でした。
・総漁獲量は1,320トンで前年比105%、平年比79%、水揚金額は前年比110%、平年比100%でした。
・魚種別では、マダイ、ニギス、スケトウダラは平年並み、マダラ、カレイ類、ホッコクアカエビ、アカムツは平年に比べて不漁でした。

【浮魚類】
○定置網
・総水揚量は2,607トンで前年比91%、平年比93%でした。
・魚種別では、サバ類、マイワシ、メジ及びクロマグロが平年に比べて好漁で、ヒラマサは平年並み、マアジ、イナダ、小ブリ、中ブリ、大ブリ、サワラ、スルメイカ、マダイ、ヤリイカ及びサケは平年に比べて不漁でした。
・表に記載はありませんが、春季にフグ類、秋季にソウダガツオ類、シイラ及びウスバハギがまとまって水揚げされました。
○まき網
・総水揚量は476トンで前年比217,493%、平年比84%でした。
・サバ類の水揚量は平年の184%でした。
○いか釣
・スルメイカの水揚量は36トンで前年比21%、平年比6%でした。